

[特別展] (展示室2・3)

田村孝之介 と神戸

色彩輝くその芸術と個性豊かな後進たち
児玉幸雄/西村 功/中西 勝/鴨居 玲

2000年9月23(祝)日 ▶ 12月3(日)



「海をたたく」1959年 神戸市蔵

同時開催：**収蔵作品展Ⅲ** (展示室1) 小磯良平の作品を展示します。

●講演会
「田村孝之介の芸術」
10月8日(日)午後2時～3時30分
当館2階 絵画学習室 定員80名
神戸市立美術館学芸課長
講師 河崎晃一氏
●解説会
毎週土曜日 午後2時～
[当館学芸員のガイドによる作品解説]

- 開館時間/午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日/毎週月曜日(10/9は開館)、10/10
- 交通/JR住吉駅・阪神魚崎駅のりかえ六甲ライナー「アイランド北口駅」下車西へ徒歩すぐ
- 主催/神戸市立小磯記念美術館・神戸新聞社
- 後援/サンテレビジョン・AM神戸

	一般	高校・大学生	小学・中学生
当日	800	550	300
前売	700	450	200
団体	600	400	150

※団体は30名以上、前売はプレイガイドなどで発券。

神戸市立小磯記念美術館

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-7 TEL.078-857-5880

Kobe City Koiso Memorial Museum of Art



【特別展】

田村孝之介 と神戸

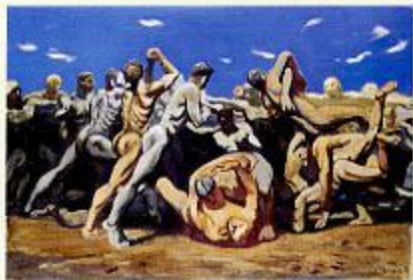
色彩輝くその芸術と
個性豊かな後進たち

児玉幸雄・西村 功・中西 勝・熊居 玲

大阪に生まれた田村孝之介(1903~86)は、1929(昭和4)年神戸に転居し、神戸の芸術家たちと交友を温めます。なかでも同年生まれの小磯良平とは、強い刺激を与え合いました。また田村は、1931(昭和6)年頃より自宅内に洋画研究所を開設し、戦中・戦後を通して後進たちの指導にも尽力します。日本の洋画界での名声と没後が増す中、1964(昭和39)年に田村孝之介は東京へ転居しますが、それまでの間、神戸の洋画壇の発展に大きく寄与しました。田村のもとからは、研究所のサブリーダー格であった児玉幸雄(1916~92)をはじめ、西村 功(1923~)、中西 勝(1924~)、熊居 玲(1928~85)など優れた画家たちが出ています。

今回の企画は、伸びやかな筆致と大胆な色使いに特長のある、田村孝之介の作品約75点を、神戸の後進たちの作品約20点とあわせて展覧し、その輝かしい画業を紹介する試みです。

色彩輝く田村芸術を、個性豊かな後進画家たちの作品とともに、どうぞお楽しみ下さい。



田村孝之介「群像」1935年 神戸市立小磯記念美術館 蔵



田村孝之介「白い馬」1955年 株式会社 丸屋 蔵



児玉幸雄「弾き語り」1975年



中西 勝「黒い聖母子」1972年



田村孝之介「踊り子」1956年 神戸国際会館 蔵



熊居 玲「真兵」1973年



西村 功「ようこそ！どうぞ」1977年 神戸市立小磯記念美術館 蔵

次回開催会のお知らせ(予定)

【第5回 小磯良平 大賞展】

12/9(土) - 2014/2/4(日)

1992年より2年ごとに開催されてきた小磯良平大賞展は、今回5回目を迎えました。現在各地で活躍中の作家による公職作品の中から、入選作品等を展示します。

同時開催 収蔵作品展Ⅳ(第5回)

本館で収蔵する小磯良平の作品を展示します。



※公園の地下には代官駐車場(有料)が設置されています。